

式辞

校庭の桜の花が、入学式を待っていたかのように満開となりました。

北部中学校に入学された98名の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員そして在校生一同、皆さんの入学をととても楽しみにしていました。

今日から始まる中学校生活を前に、ワクワクした期待が大きいですか。それとも不安の方が強いですか。

小学校から中学校に入学する頃に、環境が大きく変化することで、不安感が強まる場合があります。このことを中1ギャップといいます。

ギャップとは、段差のことですが、新入生の皆さんには、この段差でつまずいたりせず、段差をジャンプするための踏み台、ステップと捉え、大きく羽ばたいてほしいと思います。

では、ギャップをステップにするためには、どのような心が必要だと思いますか。それは、新しいことに挑戦しようとする心、たとえ失敗しても、再び挑もうとするしなやかな強さをもった心です。

北部中学校の今年度の目標は、「挑戦こそ成長」です。新しいことに挑戦することを恐れず、この3年間で大きく成長していくことを願っています。

また、中学校生活では、二つのジリツを意識してください。

一つは自ら立つと書く自立、自分のことは自分でしっかりと行うということです。

将来の目標を自分で決め、その目標に向かって努力することも自立です。

もう一つは自らを律すると書く自律、自分の感情をコントロールするということです。

人には喜びや怒り、悲しみといった様々な感情が起きますが。時に自分の感情をそのまま友達や家族にぶつけ、傷付けてしまうことがあります。

自らを律する自律ができれば、自分がされて嫌なことを、人にするということがなくなり、北部中学校からいじめがなくなるのではないかと思います。

自立と自律、二つのジリツを意識して、様々なことに挑戦し、先輩たちとともによりよい北部中学校をつくっていきましょう。

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。私たち教職員一同、大切なお子様をお預かりし、責任をもって指導、支援していく覚悟でおります。中学生の時期は心と体が急激に発達し、時にバランスを崩してしまうこともあります。そんなとき、子どもたちにとって、心のよりどころとなるのは、やはり、保護者の皆様です。ご家庭での生活を基盤として、そのうえで、ご家庭と学校が連携して教育に当たっていくことが大切と考えておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

また、ご来賓の皆様、本日は入学式にご臨席を賜り、心より感謝申し上げます。子供たちの成長には、家庭と学校を支えていただく地域の皆様のお力添えが必要不可欠と考えております。今後とも本校の教育活動にご支援賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新入生をはじめ北部中学校の生徒が、校歌「学びの道」に歌われているように、強く、そして清く生き抜いてくことを願い、式辞といたします。

令和7年4月9日

氷見市立北部中学校長 櫻打佳浩